

生掛け人

新鮮野菜が盛りだくさん

天領朝市

11月12日までの
毎週金曜
朝9時30分～正午
〔萩原本町商店街〕



▲観光バスも立ち寄る天領朝市

▲100円前後の価格で売られる「ワンコイン販売」が人気

萩原町商工会では地域の皆様に楽しみながらお買い物をしてもらえる『生活利便劇場』の街づくりを目指しています。そこでは商店街が「舞台」であり、商店や従業員が「役者」です。役者がいかに立ち回るかによってお客の入りも変わります。お客の喜ぶ劇場を作らなければいけません。

天領朝市は商店街をもう一度よみがえらせようと昨年10・11月に初めて開催しました。予想以上に好評だったため、今年は7月から開いています。朝市では商店街の中に16の特製屋台を設置。農家の人たちなど



萩原町商工会事務局長
岡崎 哲也さん

生活利便劇場の街づくり

に協力してもらい自慢の新鮮野菜や農産加工品を販売してもらっています。お客様ですぐに売り切れる人気ぶりです。朝市に合わせて、商店街では売り出しやポイントセールも行われるようになりました。商店街の人たちが頑張ればすごい力になります。このチャンスをつまく生かしていかなければなりません。

また『観光に生きる町はぎわら』の街づくりも進めており、下呂温泉や国道41号を通過する観光客を呼び込もうと『飛騨街道萩原宿』の木戸門を設置し、のぼりをかかげ朝市の会場の雰囲気盛り上げています。

萩原の商店街は生活感があり人情があります。ぜひ、お越しください。



街の元気



▲加恵瑠神社



▲木戸門

観光スポットの創造

かえる 加恵瑠神社 湯之島の高札場 木戸門・道標

〔湯之島温泉街〕



▲湯之島地区8か所に道標を設置 ▲復元された高札場



7月26日、新しい観光名所として「下呂温泉加恵瑠神社」(湯之島)を建立しました。

下呂温泉株式会社は、温泉施設「白鷺の湯」や「クアガーデン露天風呂」、「下呂発温泉博物館」などを経営しています。温泉を使って発展してきた会社ですから、地元へ何か恩返しできないかと考えていました。

加恵瑠神社は下呂にちなんだのと「無事帰る」など語呂合わせのユーモア、縁起や御利益を楽しむスポットとして、にぎわいを作りだしたいと考えました。

最近の旅行雑誌では神社や仏閣の特集が多く、パワースポットがブームになっています。

会社だけが商売しても

にぎわいのある温泉街に

じり貧になるだけです。周辺の土産品店や飲食店、駐車場などの街並みと人の流れを作ることが大切です。これまでに江戸時代の飛騨街道の道標や木戸門、高札場の再現にも取り組んできました。おかげで新しいお店や改装するお店も出てきて、昔のようなにぎわいが戻りつつあります。今後飛騨街道をキーにさらに何か考えていきたいです。



下呂温泉株式会社
代表取締役社長
川上 裕惟 さん



◀「日本三名泉発祥の地」の石碑